

問、擬宝珠仮名書き文、及び漢文（書き下し文）を参考に、空欄を適語で埋めなさい。
ただし、空欄キ、ク、ケは仮名書き文から抜き出して答えなさい。

熱田区伝馬町の地にあった裁断橋の擬宝珠は、現在も名古屋市博物館に保存されておられ、その銘文が有名である。

天正ア年イ月ウ日、豊臣秀吉に従って小田原へ出陣したエ才のオは戦地で亡くなった。母はカ年後、未来永劫消えない「キ」橋を架けたと書いている。いったい母はカ年間、どれほど深い感傷に沈んでいたのだろうか。「ク」と短く書いているが、それは涙を流しても流しても、なお流さずにはいられなかった母の心情をよく物語っている。

東海道を横切る精進川に架かる裁断橋は、往来頻繁であった。裁断橋を渡る縁もゆかりもないゆきずりの人々にまで、「ケ」と呼びかけた親心、情愛の深さに、今も人々は感動させられる。

裁断橋擬宝珠の仮名書き文

てんしやう十八ねん二月十八日に、をたはらへの御ぢんほりをきん助と申、十八になりたる子をたゝせてより、又ふためともみざるかなしさのあまりに、いまはこのはしをかける成、はゝの身にはらくるいともなり、そくしんじやうぶつし給へ、いつかんせいしゆんと、後のよの又のちまで、此かきつけを見る人は、念仏申給へや、卅三年のくやう也。

漢文（書き下し文）

熱田宮裁断橋、右旦那趣意者

堀尾金助公は去る天正十八年六月十八日に相州小田原陣中に於いて逝く。去て其の法号は、逸岩世俊大禪定門なり。慈母の哀情余りて此の橋を修造し、以て卅三年忌に充つ。普く供養の儀に同じ。

【答】 ア十八 イ二 ウ十八 エ十八 オ堀尾金助 カ三十三（卅三）

キ かなしさのあまりに ク はゝの身にはらくるいともなり

ケ 念仏申給へや